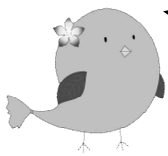


# NAGAKUTE 環境かわら版

2017年3月発行

## 1 スプレー缶の穴あけが不要に！ただし…

スプレー缶を排出時、これまでは穴をあけていましたが、4月から穴あけが不要になります。ただし、必ず使い切ってから、もえないごみの日にスプレー缶専用のかごに入れてください。



火の気のない風通しのよいところで使い切ってね。

振って音がしたら中身が残っているよ。火災の原因になるから絶対に空にしてね！



## 2 羽毛ふとんのリサイクルを始めます

4月から羽毛ふとん（ダウン）をリサイクルするために、不要となった羽毛ふとんをエコハウスで回収します。リサイクルできる羽毛ふとんはダウンの割合が50%以上のものです。製品タグで確認してください。

### ※間違えやすいもの

- ・綿ふとん
- ・ポリエステル製ふとん
- ・ダウン割合が50%未満のもの
- ・ダウンジャケット

以上のものはエコハウスに持ち込めませんので、今までどおりもえるごみに出してください。ふとんについては縦1m×横1m以下に折りたたんで1点につき指定袋(Lサイズ)1枚を貼付けて出してください。

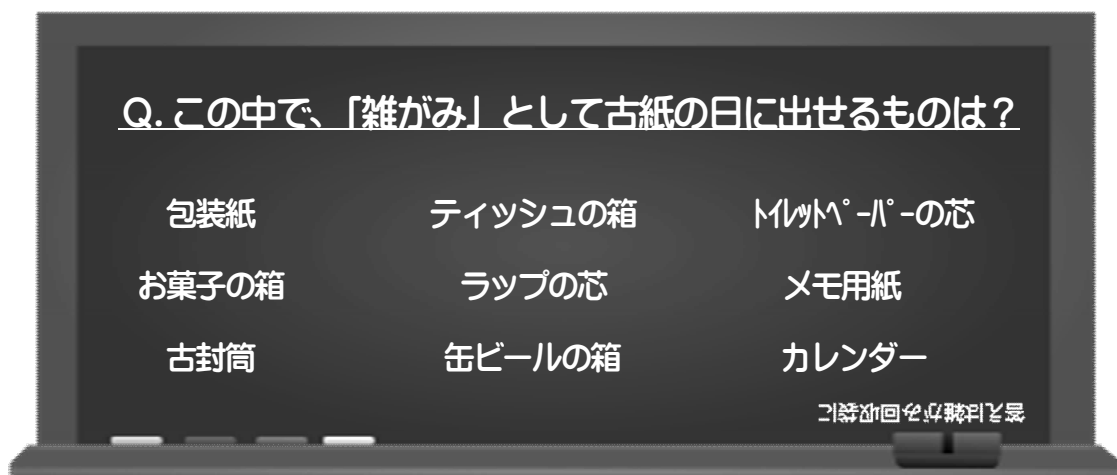
表地	ナイロン	100%
裏地	ナイロン	100%
中わた	ダウン	90%
	フェザー	10%



集まった羽毛ふとんの羽毛は、新しい製品の素材へと生まれ変わります。ご協力ください。



### 3 雑がみ回収袋を使ってみてください



近年、もえるごみの中に占める古紙の割合が高くなっています。古紙は貴重な資源ですので、もえるごみ袋には入れず、古紙の日に出してください。

雑がみ回収袋を、3月中旬から下旬にかけて、「資源とごみの収集カレンダー」と一緒に配布します。雑がみを回収袋に入れて、いっぱいになったら回収袋ごと出しましょう。体験した後は、家にある紙袋を使って続けてください。

### 4 オオキンケイギクを見つけたら！

近年、市内でも繁殖が確認されているオオキンケイギク。

鮮やかな黄色花ですが、「特定外来種」に指定されています。

特定外来種は、繁殖力が強く一度定着すると、在来の野草を駆逐し、生態系に重大な影響を及ぼすおそれがあり、栽培、運搬、販売、野外に放つことなどが禁止されています。

家に持ち帰ったり、庭などで栽培することは絶対にやめましょう。

また、庭などで自生しているのを見つけたら飛散に注意しながら抜き取りましょう。



オオキンケイギクは、5月から6月くらいまでが開花時期となりますのでご注意ください。